

吾妻山山行報告



【山行日】2019年 4月 29(月) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 7:00

【費 用】マイカー2台 : 700円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、安西、菊池、大西、
小松原、嶋田、関、福島、福田、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P7:00=吾妻山公園
P7:50/8:10~村松沢登山口 8:40~村松峠
9:20/9:40~吾妻山 10:00/10:15~水道山公園
11:20/12:00~吾妻山公園 P12:30/12:40=岩舟
支所 P13:40

入会希望者が2名あり、体験山行として桐生の吾妻山を計画した。急な計画にもかかわらず、10名の参加があり賑やかな山行となった。いつものように吾妻山公園 P に車を止め、トイレとストレッチを済ませ自己紹介をして出発する。今回も村松沢登山口から村松峠に登り、吾妻山へ向かうコースを歩くことにする。吾妻山公園から舗装道を歩き、光明寺の先で橋を渡ったらすぐ左折して道なりに進む。住宅街を過ぎると山道を歩くようになり、さらに進むと村松沢に沿って登るようになる。

やがて沢が消え鬱蒼とした杉林の中を登るようになり、九十九折れの急坂を登り切ると村松峠に出る。ここは吾妻山から鳴神山への縦走路になっており、吾妻山へは左に進んで行く。小休止しイチゴや菓子を食べながら、急登で疲れた体を休める。ひと休みしたら、雌吾妻へ向かって階段の登山道を登って行く。4月上旬なら山頂手前の北斜面にカタクリの花が群生しているが、今は葉のみが残っている。電波の反射板がある雌吾妻山頂から一旦下り、吾妻山山頂へ登り返す。山頂には吾妻大権現を祀った立派な祠があり、多くの登山者が休憩していた。我々もザックを降ろし、ベンチに腰を下ろしてデコポンや菓子を食ベエネルギーを補給する。山頂からの眺望を楽しみ、



記念写真を撮ったら下山する。下山は南の尾根を進み、少し先の標識に従って東へ急な岩場を下って行く。ガレた岩場を慎重に下り、女坂をトラバース気味に下ると展望の良いトンビ岩に着く。トンビ岩からの展望もなかなかのもので、小休止して展望を楽しむ。ここから岩場を下ると、再び男坂と女坂に分かれており安全な女坂を下る。下り切ると舗装道に出て、そのまま舗装道を歩き登山者用の陸橋を渡ってすぐに右折し、水道山へ向かって尾根道を進む。

こちら辺からヤマツツジの花が多くなり、真っ赤なツツジの間を進むようになる。途中、車道を横切って直登し、左に回り込むと戦没者の慰霊碑がある水道山山頂に出る。少し先でトイレを済ませ、大きな東屋でランチタイムとする。本日の山ご飯は天ぷらうどんとお汁粉の豪華版。広い東屋のベンチに腰掛け、ゆっくりとランチを楽しんだら下山する。去年ツツジやジュウニヒトエの花を楽しんだ遊歩道を廻り、吾妻山公園へ向かって降りて行く。



吾妻山公園は花が豊富で、季節に応じて様々な花が楽しめる。公園の花壇にはチューリップの花が満開で、色とりどりのチューリップが目を楽しませてくれた。花を楽しみながら公園を下ると駐車場に着き、靴を履き替えてからトイレを済ませる。

荷物を車に積んだら出発し、予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。

体験山行のお二人も「とても楽しく歩きました」と言って、山人クラブへ入会することになった。

